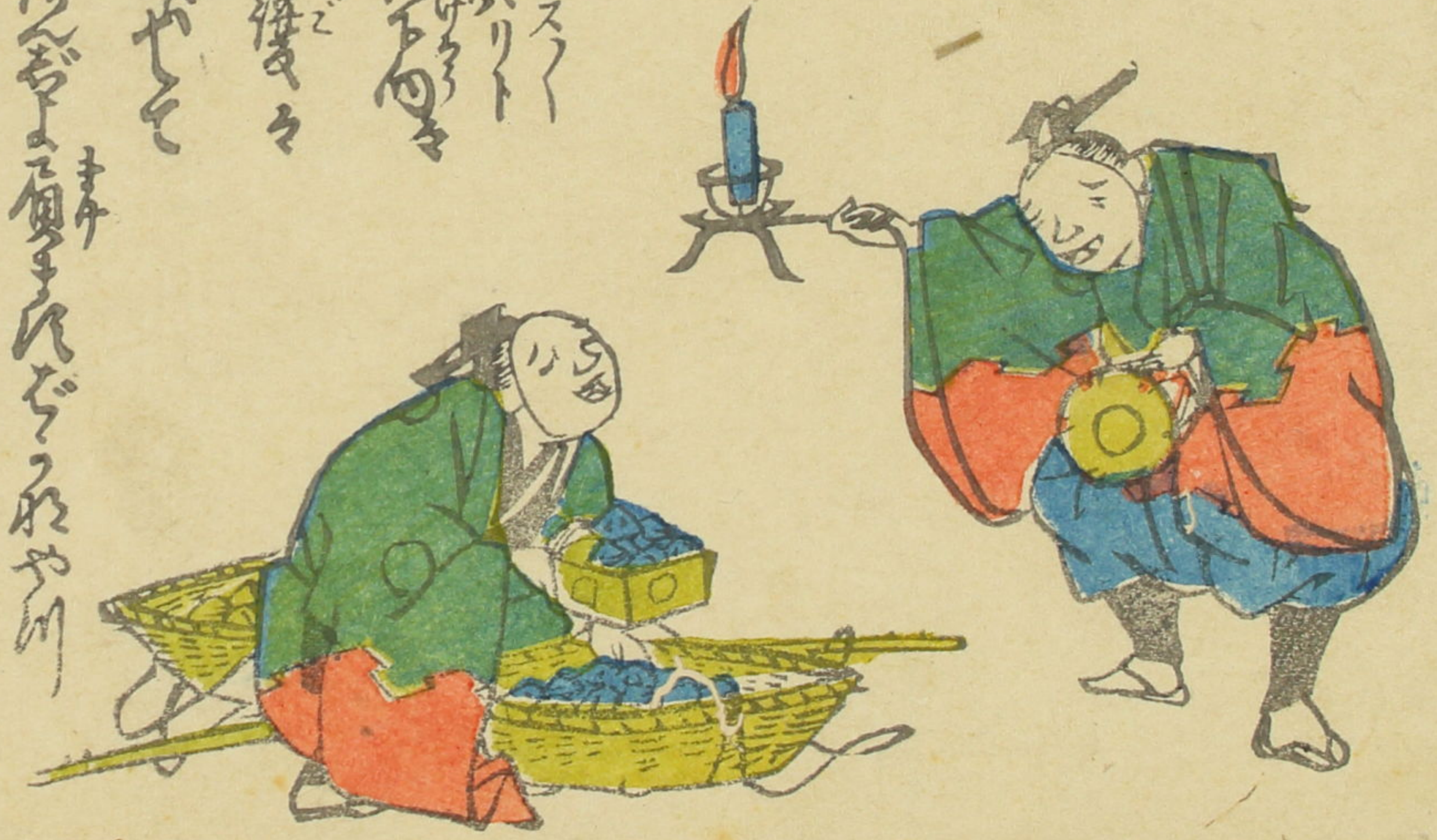
新板　万（まん）歳（ざい）の人（にん）数（ず）

十九（とく）川（がは）がつまりのめて世上（せじやう）も
さる花町（まち）くたくたひおりなる
なりさがる日々日々のうあるゝ見え
ちなしこんなつやゞる　みぶろくも
これにおもしろかるゝ気（き）持（もち）よく　めでたく
それ鉄（ぜに）甲く〻　シンセン シニツクシ ニ シセン シスク（シニツクス シニツル ー スッパリト）
気の〔むね〕の遠（ゑん）山（ざん）大名（たいみやう）おひろう御下（げ）向（かう）き
日（ひ）〻さだいちかられ　十万（ちやうゑん）ろい守（しゆ）護（ご）て〻
朝（てう）敵（てき）やもし　来（き）るやけれ　さりとて　それ
（チリ〻　サンラン）正月三日　よろづ是一戦（いつせん）に御（お）よび負（まけ）てんでんちりや川
何（つ）の津れあわじやとはなれそれもなろあひまけしやとてらはれなるへ
蓋（く）ろ名（め）もめんめく　そろちぢろるさ　やけるし　伏（ふし）見（み）淀（よど）八（や）幡（わた）ら
ろる者（もの）あらへ　大胃（おなか）出胃（でづ）ら宮（つら）のおひろち　なりてさかえる々　テンツ　ざとい
みとして　スッドテン　洗（あら）して　悉くおぐなど　追（おい）払（はら）われのへ　さら居り
よくできとひく〻げ　橋（はし）本（もと）丁（ちやう）それがどん〻やける〻　トヽイチメン トヽイチメン　一統
火（ひ）にかかる時（し）変（こゝろ）〻　ねぶにたまぞりろ々に台に　武（さむらひ）士（しゆう）衆はかぞ
ちく〻やくらぶ声やおや〻　ばれる後（ご）家（け）もたちまちほろびるなり
さあればげにも扣（おさ）まらぬ十九（とく）川（がは）の御（み）代（よ）なり　御（ご）所（しよ）のおろくおれはさある
くぶらく武士（ぶし）とたてても帰る御（お）様（さま）の様（ざま）はいませず江戸（えど）廿四（あと）は居ちや
めでたくものがちもいう仏あへおわだちとおぐりつい　それまで